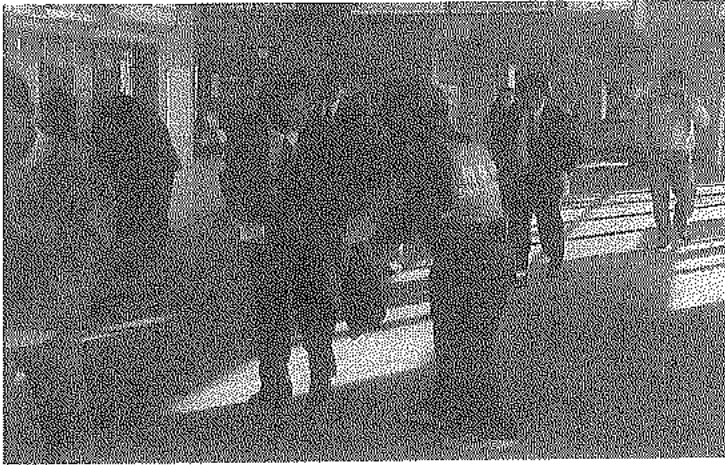


シルバーの日

落書き消しなど

ボランティア活動実施

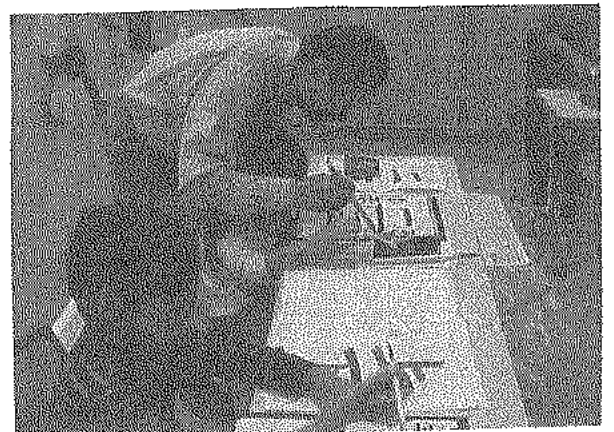
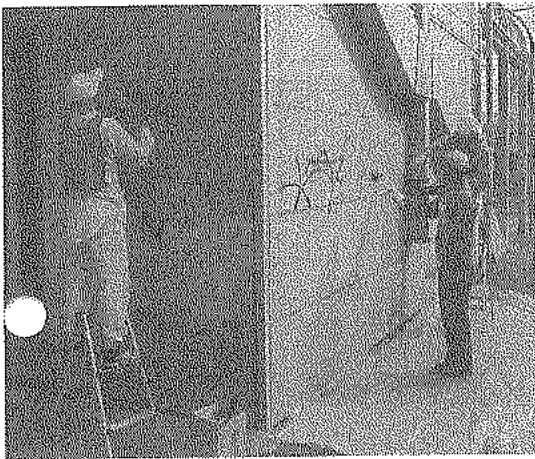
精華町シルバー人材センターは、10月中旬の「シルバーの日」を中心にいろいろな奉仕活動を行い、地域に役立つシルバーをPRしました。



「シルバーの日」とは、京都府シルバー人材センター連合会が府内一円で奉仕活動などを行い、シルバーの存在を府民に印象付けようと設定した統一行動デーです。

秋晴れに恵まれた15日朝、役員が近鉄とJRの祝園駅改札口に分散して、通勤・通学客にパンフレットを配り、シルバーを売り込みました。午前8時半ごろからは会員28人が参加して、駅周辺の清掃作業に汗を流しました。連絡橋通路の床掃除、

ガラス拭き、駐輪場内のごみ拾い、草引きなど、1時間半ばかりの作業で軽トラック1台分のごみを集めました。特に力を入れたのは、駅東口の壁面を汚している落書き消しの作業でした。柱、壁、扉など、ところかまわず書きなぐってある落書きを5人の会員がペンキで丁寧に塗りつぶしていきました。2時間以上かけた作業で、東口の景観は見違えるようにきれいになり、乗降客も会員もにこにこ顔でした。



午前の部は山田先生が主に小学校低学年を対象に小筆を使用しての習字、午後の部は岩前先生に小学生から中学生対象にふと筆を使用しての習字の指導をしていただきました。参加者が多く席が空くのを待つ子供もいて大盛況でした。

